

松山圏域ビジョンの策定方針について

1. 策定手法

①現状分析(高度なデータ分析・データの可視化)

・統計データ ・市民アンケート ・第2期ビジョンの評価 ・未来予測など

②課題の抽出

・市民ニーズの整理 ・現行施策の進捗分析 ・数値データと定性データの分析

③将来像の設定

・国県施策動向の参照 ・他圏域の先進事例を分析 ・目標と指標の設定

④新規・改善施策の検討

・既存施策の改善 ・新規施策の導入 ・評価手法の検討

⑤わかりやすい計画の策定

・ストーリー性の向上 ・視認性の向上

2. 検討を進める主な取組

コロナ後の社会情勢をふまえ、インバウンドや交流人口の増加、広島圏域との交流に合わせた新たな観光面・経済面の施策のほか、防災減災やデジタル化などに対応する施策について検討をすすめたいと考えている。

3. 今後のスケジュール予定

| 年月 | 内容 |
|---------------|---|
| 令和7年 8月～9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 松山圏域活性化戦略会議 専門委員会 ・松山圏域ビジョンの策定方針 ・現行ビジョンの検証結果 ・次期ビジョンへの課題の整理と取組の方向性 ●第1回 松山圏域活性化戦略会議（書面開催） |
| 令和7年10月 | <ul style="list-style-type: none"> ●次期圏域ビジョン（素案）作成 ・第2回 松山圏域活性化戦略会議 専門委員会 ・基礎調査結果の報告・アンケート実施結果の報告 ・圏域の将来像と基本方針案についての協議 |
| 令和7年11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第3回 松山圏域活性化戦略会議 専門委員会 ●第2回 松山圏域活性化戦略会議（書面開催） ・最終案についての協議 |
| 令和7年12月 | <ul style="list-style-type: none"> ●次期圏域ビジョン（最終案）作成 |
| 令和8年1月 | <ul style="list-style-type: none"> ●パブリックコメント |
| 令和8年3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 松山圏域連携協議会 ●第3回 松山圏域活性化戦略会議（新ビジョン決定） ●変更連携協約の議決 ●連携協約締結 ●次期ビジョンの策定・公表 |